


地域活動のWEB会議ツール活用紹介！

WEB会議ツールは、インターネットを通じて、気軽につながることができるツールです。時間や場所を人の事情に合わせて使うことができ、地域活動にはとても相性がよく便利です！これを機に「つながり」「交流」を生み出すオンラインを活用した活動をしてみませんか？

こんな時に使えます！

- 1 **会議や打ち合わせ**
都合の良い時間に好きな場所から参加することができます。遠方の方も気軽に参加できます。
- 2 **イベント**
「セミナー」「座談会」「フォーラム」「ステージ発表」など、さまざまなイベントをオンラインで開催できます。

| 代表的なWEB会議ツール | 特徴 | 活用ケース |
|--|---|---|
| <p> LINE</p> <p>1対1のチャット（文字による会話）や通話でのやりとりのほか、グループ作り、ビデオ通話もできます。「画面シェア」機能があり、資料や動画の共有も可</p> <p>URL https://line.me/ja/</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・無料通話やチャットを行えるコミュニケーションツール ・互いに事前承認したメンバーと話せる ・グループでのビデオ通話は無料、最大500名まで参加可 ・これまでのビデオ通話より会議やつながっていない人との繋がりに特化した新機能LINEミーティングもある | <ul style="list-style-type: none"> ・町内会役員の会議や打ち合わせをする ・チャットで団体内の意見交換をする ・町内会の情報発信に活用し、回覧を減らす |
| <p>Zoom</p> <p>Zoomは簡単な操作で、多人数の会議を開催することができ、会議中に文書や画像など、様々なファイルを画面共有できます</p> <p>URL https://zoom.us/</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・WEB会議のためのツール ・無料で利用できるが、3人以上のグループだと利用時間は40分まで、最大で100名が参加可 ・録画、録音機能がある ・映像・音声比較的安定している ・会議参加者をグループ（ブレイクアウトルーム）に分けて、グループごとに会話可 | <ul style="list-style-type: none"> ・イベントをオンライン参加で開催する ・多人数で開催していた講座を、一部オンラインにして開催する ・地域カフェをオンラインで実施する ・講演会を開催することで、今まで依頼できなかった遠方の講師にも依頼ができる |

【*上記以外にも、地域情報の発信・コミュニケーションツールとして、ホームページ・ブログ・Facebook・twitterなどのSNS、Youtubeなどの動画サイトがあります。】

オンライン環境に必要なもの

- ・端末（スマートフォン・パソコン・タブレット）
- ・インターネット回線（家庭用インターネット回線、モバイルWi-Fi、スマートフォン本体の通信回線）

★今、こんな地域SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）も活用され始めています！

◎地域の広場アプリ「PIAZZA(ピアッツァ)」・・・ URL <https://www.lp.piazza-life.com/>
地域の住民同士の「おしえて!」「お譲りします!」「イベント告知」など、ご近所ならではの情報や、モノ・コトのシェアができるアプリ。横浜市では港南区、港北区、金沢区で導入されています。

◎ご近所SNS「マチマチ」・・・ URL <https://machimachi.com/>
ご近所の方と子育てやおすすめの店などについて、情報交換をすることができるご近所限定のインターネットサイト。



オンラインでの活動に挑戦してみる

①みんなが使いやすい「LINE」で発信する



反町第一町内会



山崎 栄 会長

町内会の活動情報は紙媒体とLINEを併用しながら発信しています。LINEでは、地域の方が知りたいと思う情報をリアルタイムに届けています。若い世代はスマホから情報を得ることが多く、少しでも地域の情報を知るきっかけになればと思っています。コロナの状況で地域の方から「人が集まれない中、LINEを活用してよかったね」と言われることも多いです。

URL <http://www.tanmachi-1.com/about/>

Information

地域の連携やつながりを大事に考え、町内会のホームページと合わせてLINEを活用し地域情報を発信しています。

東神奈川町内会



櫻田 宏 会長

町内会活動が何もできなくなり、集まって話し合うこともできずモヤモヤしていた頃、役員たちのLINEグループを作り、定例会の議題をLINE電話で話し合いを始めました。事前に議題資料をLINEで共有することで、時間効率の向上とペーパーレス化につながっています。対面で話す方が伝わりやすいのはもちろんですが、LINE開催では気軽に自宅から参加できるので、毎回の参加率は100%になりました。

Information

役員も比較的若い層が多い町内会です。5月からLINEを使って定例会を開催しています。

②リモート合唱を活用して 団体内のつながり強化

かながわママコース マミムジカ



代表の金子 斐さん

今後の活動がどうなるのか不安な気持ちでしたが、こんな中でも私たちにできることをしようと考え、リモート動画を作ることにしました。自撮りした歌をまとめて編集し、ブログにアップしました。リモートでも一緒に歌っている雰囲気を感じられて、とても元気になりました。今は、家で楽しめる子ども向け動画をブログ・ホームページにアップしています。



Information

マミムジカは、神奈川区を中心に活動しているママ合唱団です。高齢者福祉施設や子育て支援施設などでの子連れボランティア演奏を通じた地域貢献もしています。

URL <https://mamimusica1212.jimdofree.com/>
<https://ameblo.jp/mamimusica1212/entry-12597643428.html>

③WEB会議システム「Zoom」で新しい集い オンラインカフェ開催

タダズ・コーヒー



店主の中城和生さん

月1回、自宅で無料コーヒーを振る舞う「タダズ・コーヒー」がコロナで中止となり5月からZoomでオンライン・タダズを始めました。すぐ常連の方が現れ、加えて毎回新しい方も参加。「娘にアプリを入れてもらったの初Zoomですが、面白くてわくわくしてます」「オンラインで丁寧にお話できました」「自宅だと気軽に参加できます」とみなさんに好評です。年齢性別を超えての情報交換は超楽しいっ！

URL <https://tadazcoffee.jimdofree.com/>

Information

三枚町にある無料喫茶店「タダズ・コーヒー」は、誰でも無料でコーヒーが飲める小さなお店。本を読んだり、音楽聴いたり、おしゃべりしたり、一人静かに過ごすこともできます。

さまざまなツールで利用者の近況を知る

①離れていてもつながり合う「お便り」を発行！

サロン「にくじゃが」



代表の小山廣子さん(写真左)と運営メンバーの方々

サロンを中止して時間が経つごとに、サロンの利用者さんのことが心配になりました。利用者さんに「あなたのことを気にしています」の気持ちを知ってもらうため、カタチに残る「お便り」を配り始めました。常連さんを中心に電話で取材し、コロナ禍での生活の様子を届けています。毎月の「お便り」で利用者とのつながりを深めていきたいです。



Information

ランチを楽しみながら地域の人と交流できる場です。会場は、神明町にあるサロン代表の小山さんの自宅の1階を開放しています。

②会わなくても深くつながる絵手紙で交流

スカイハイット-カイ「ふれあい会」



「ふれあい会」代表の古賀淑子さん(写真中央)と運営メンバーの方々

こんな時だから何かできないかと思ったのが、一枚のはがきに思いを伝える「絵手紙」での交流でした。季節を感じる手書きの絵とあたたかい言葉がカフェの利用者さんに元気を運べるのではと思いました。一方通行にならないように、絵手紙を受け取った利用者さんからできるだけ返事がくるような工夫をしています。月に一度送る「絵手紙」の取組で、住民のつながりが深まっている感じがしています。



Information

マンション(富家町)内の自主活動として、「ふれあいカフェ」の開催や趣味の活動のボーリング、カラオケなどの同好会を通して、住民同士の交流を進めています。

ウイズコロナ社会の中で、あらゆる工夫をしながら活動を継続している区内事例の一部を紹介します。それぞれの活動者に話を聞きました！

活動の発想転換をしてみる

①三密で飲食がダメでも、「食品」を配付することならできる！

子ども食堂「ふれあいつこみつ沢」



代表の小川真奈美さん

活動を休止し、毎月会っていた子どもの顔を見たい、様子を知りたい思いが募りました。でも、子ども食堂は開けない。さあ、どうしようということで、子ども食堂では以前からフードロス問題に取り組み、フードバンクとのつながりがあったので、一緒に食べることができないなら、食品を配ってはどうかと「食品頒布会」を思いつきました。

URL <https://kodomo-mituzawa.jimdo.com/>



「食品頒布会」の様子

Information

「みんなで食べるとおいしいね」をモットーに、三ツ沢東町自治会館と三ツ沢西町自治会館を会場とし、子ども食堂を開いています。

②屋内開催が難しいなら、屋外をしてみる！

暮らしの保健室よこほま



代表の金子真弓さん(写真右)

イベントの開催予定だった6月ごろは不安で外出したくないという雰囲気が漂う中、「イベントを開催するには、マスク着用、体温測定、手の消毒、座席の間隔、風向きなど、できる限りの対策をすれば屋外なら大丈夫」という専門医のアドバイスをもらい、実施しました。今後もコロナの状況を見ながら、気持ちの良い屋外でのイベントを考えていきたいです。



屋外で行った「新型コロナウイルス感染症対策セミナー」の様子

Information

「誰かにちょっと聞いてほしい」を相談できる菅田町にあるカフェみたいなみんなの居場所です。生活の中で抱える健康の不安や心配などを気軽に相談できる場です。